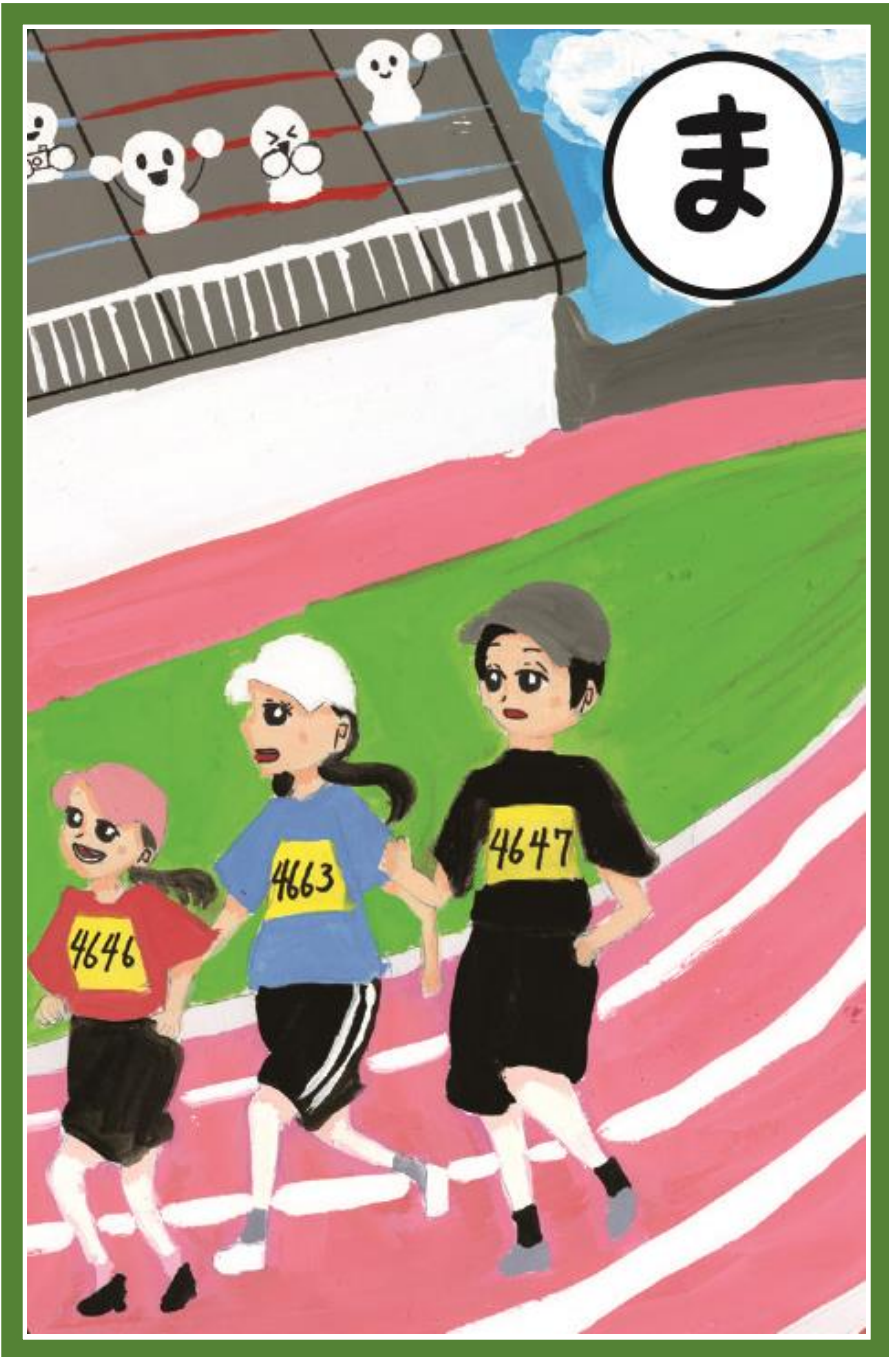


1979年から始まったつつじマラソンは参加者も約3,000人となり、県外からの参加も多くなりました。鯖江市東公園陸上競技場からスタートし、ハーフコースは河和田までを往復します。また、親子で走るファミリーコースではいっしょに手を繋いでゴールし、親子の絆を育んでいます。

『つつじマラソン・陸上競技場 東鯖江』



ま

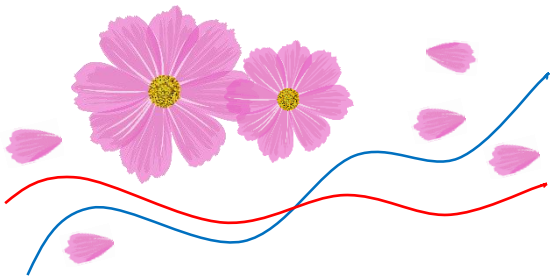
マラソンの

はつちやく てん

発着点は

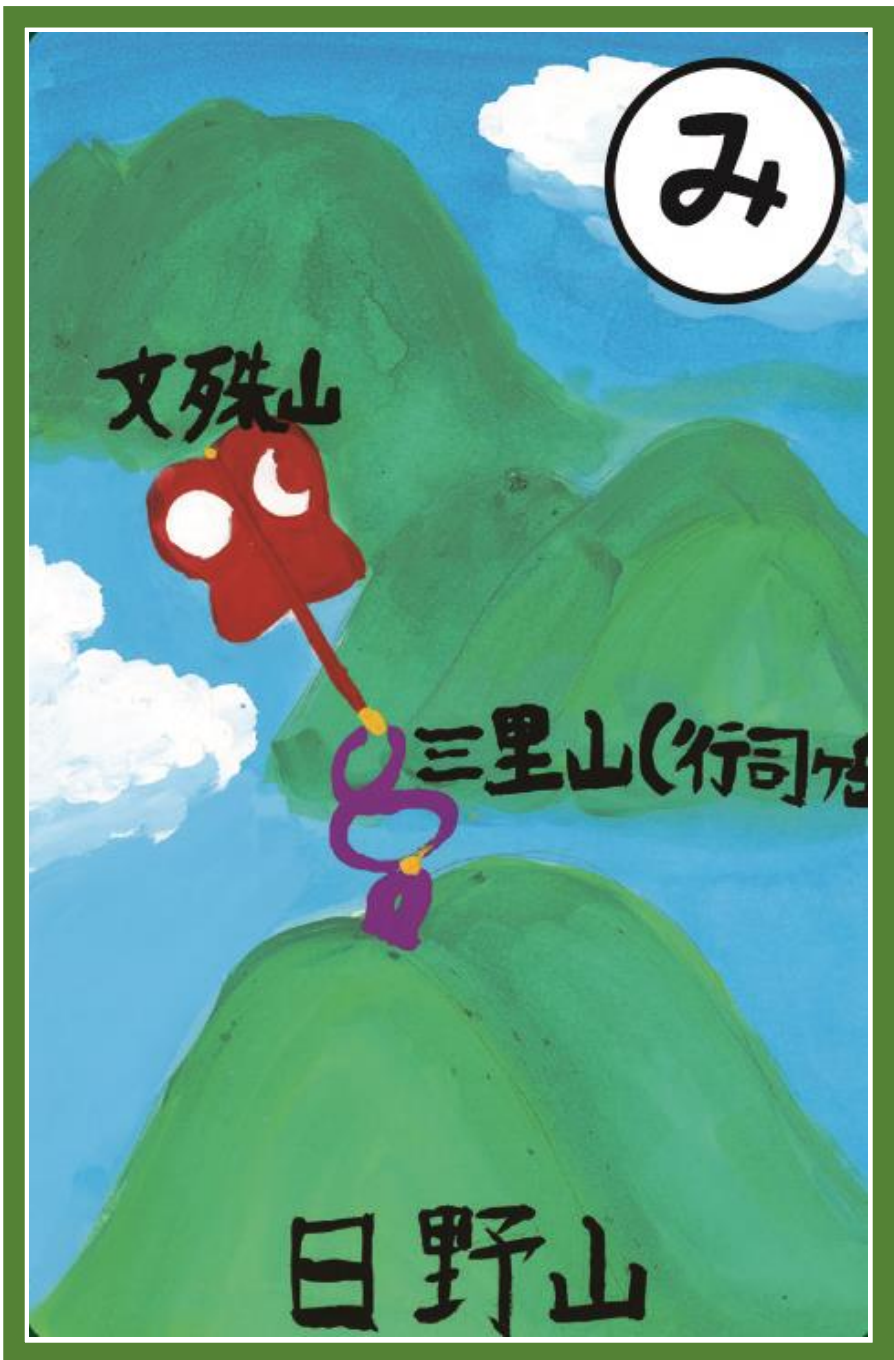
きょうぎじょう

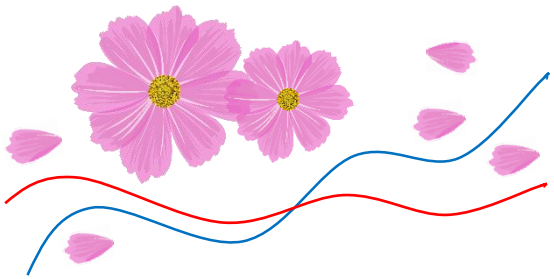
競技場



新横江地区からみると南には越前富士とも
言われる日野山、北には文殊山が望めます。
その間に三里山(346m)が位置しています。
昔の人はまるで日野山と文殊山が相撲を取り、
三里山(別名 行司ヶ岳)が行司をしているよう
だと例えたようです。

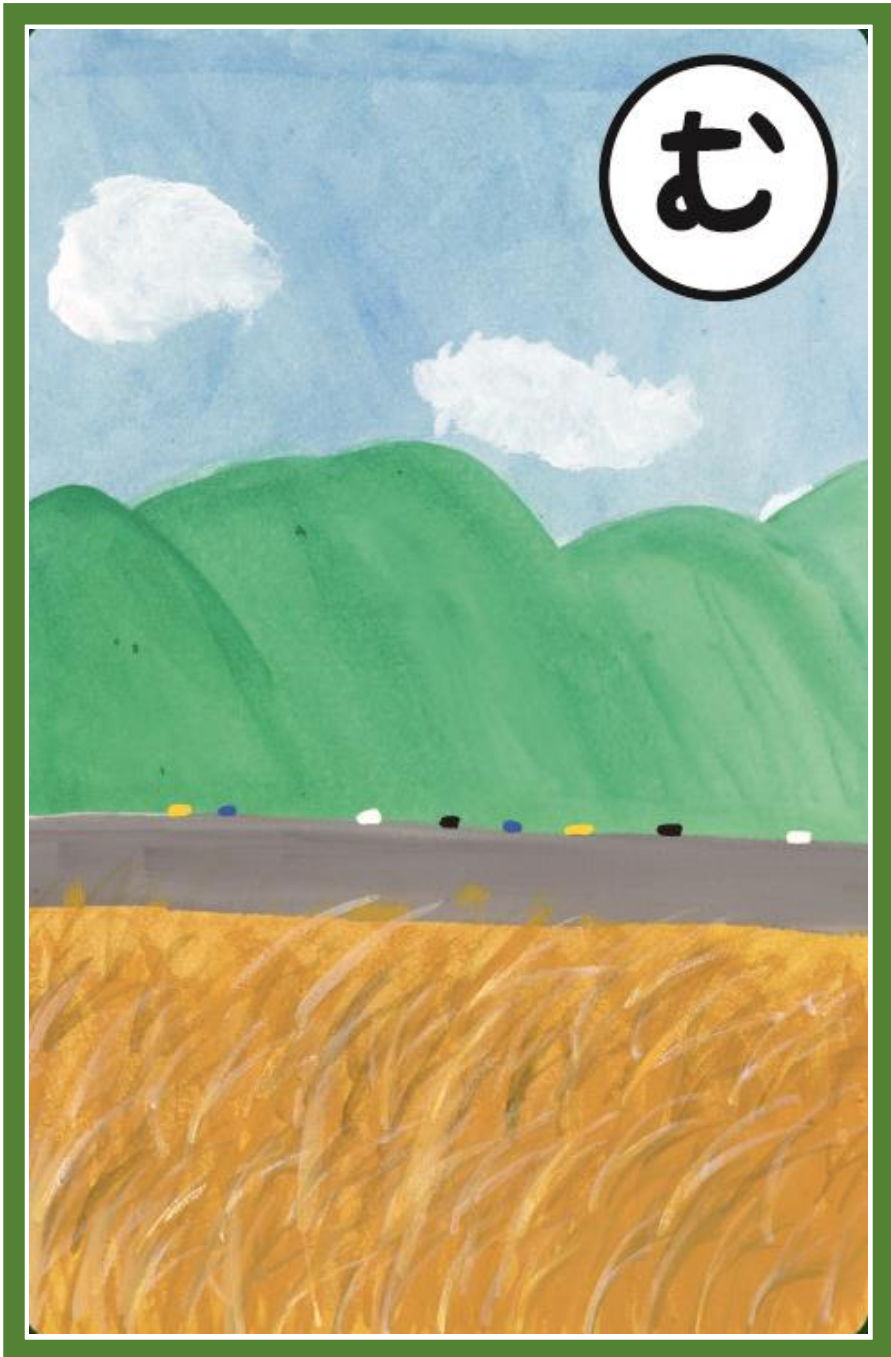
『三里山 新横江地区』





新横江地区では五月の末に大麦で田んぼ一面、黄金色に色付く季節が訪れます。国の減反政策に沿い新横江地区では十月頃種を播き、翌年の五月下旬から収穫をします。大麦は麦茶や麦とろ麺の原料として、広く利用されています。

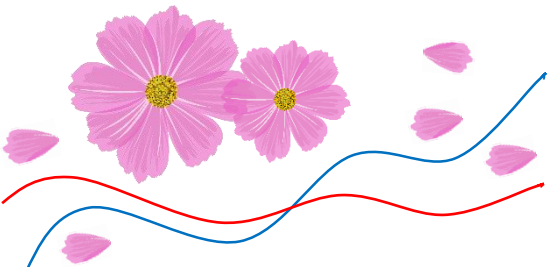
『麦畑 新横江地区』



む 麦畑 むぎばたけ

見渡すかぎり みわた

黄金波 こがねなみ



明治二十八年横越地籍の琵琶西に「大樋尋常小学校」が建てられました。大樋校には、横越・五郎丸・定次・新町の子ども達が通いました。大正十三年に一村一校制になり現在の鯖江東小学校の所に「新横江尋常高等小学校」が設立される迄二十九年間存続しました。新横江公民館の北西の隅に大樋校跡の石碑が残っています。

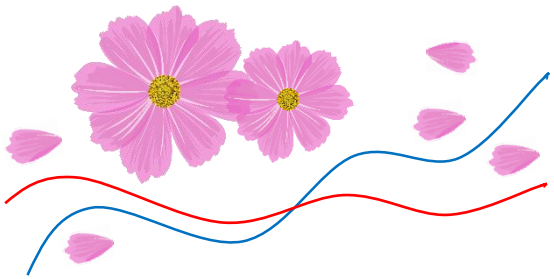
『大樋校 教育施設』



めぐりゆく

まな
学びの面影
おも
かげ

おお
ひ
こう
大樋校



マリンバで有名な「おろぎ社は、1949年（昭和二十四年）五郎丸町で教育用卓上木琴の製作会社として創業しました。その後、特にマリンバ等は日本をはじめとする世界中の鍵盤楽器奏者からも高い評価を得て沢山の演奏者が愛用しています。現在、本社・工場は越前町（旧丹生郡朝日町）へ移転しています。

『「おろぎ社 五郎丸町』』



もつきん
木琴

いま
今はマリンバ

こおろぎ社
しゃ